

第2章 市の概況

第1節 自然の条件

第1 位置及び面積

位置	東経140度43分～140度49分 北緯 41度43分～ 41度59分
広ぼう	東西 約24km 南北 約31km
面積	397.44km ²
海岸線	約21km

第2 地勢

本市は、北海道の南西部渡島半島の南端に位置し、南は函館湾・津軽海峡に面し、東西約21km、南北約31kmで、面積は約397.44km²である。海岸線は、東西にかけて約21kmで、富川以西は約30m程度の海岸段丘を形成している。東部は函館市・七飯町、西部は厚沢部町・木古内町、北部は七飯町に接している。

地形の特色は、西部は山地で、東部は南に緩やかに傾斜した函館平野の一部であり、水田、畑、住宅地が広がっている。また、山地と函館平野の境界付近には、活断層・函館平野西縁断層帯がある。

主な河川は、常盤川、久根別川、大野川、久根別川、戸切地川、流溪川、茂辺地川で、いずれの河川も南流し、函館湾・津軽海峡に注いでいる。

主要交通路は、海岸沿いに国道228号と内陸にある高規格道路、南北に国道227号があり、鉄道では、道南いさりび鉄道、それに2016年3月開業の北海道新幹線がある。

第3 気候

北海道の南部に位置するため、梅雨の期間はなく、北海道の中では、年間を通じて寒暖の差は少なく、しのぎやすい気候である。

春秋は温暖の日が多く、冬は季節風が強い。

資料2-1 気象に関する資料

第2節 災害の概況

過去に発生した災害の主なものは、資料2-2のとおりである。

資料2-2 過去の災害
